

## 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

平成23年 6月21日  
指導学級 1年B組  
場 所 被服室  
指 導 者 藤本 朱子

1. 題材名 「家庭生活と消費」 (D 身近な消費生活と環境)

2. 題材について

### (1) 題材観

経済社会の変化に伴い平成16年に「消費者基本法」が改正、制定され、消費者政策の基本理念として消費者の権利の尊重と消費者自立の支援が明記された。消費者教育の充実に向けては、平成21年「消費者庁」も発足している。

中学校学習指導要領では、小学校の内容との体系化を図り、中学生としての自己の生活の向上を図る内容構成となり、新たに「D身近な消費生活と環境」の枠組みが設定された。これは、社会において主体的に生きる消費者を育む視点から、消費者の自覚や環境に配慮した生活の工夫などに関わる学習について、中学生の消費生活の変化を踏まえた実践的な学習活動を重視しての改善となっている。

国立教育政策研究所の平成21年「特定の課題に関する調査（技術・家庭）」によると、販売方法の特徴や消費者保護に関する学習が好き、参考にしてると肯定的に解答している生徒は40%台であり、消費生活の学習への関心は高くない。こうしたことから、指導にあたっては、消費・環境への関心を一層高め、社会において主体的に生きる消費者を育むために、学習指導要領の内容の取扱いに示された衣食住や家族に関する学習と相互に関連を図り、総合的に展開する必要がある。

また、中学校学習指導要領解説には「多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し、物資・サービスの適切な選択ができるようにする。」となっており、情報収集・整理・比較・選択（判断）の意思決定のプロセスを踏んでいる。これについて佐藤は、人が「自己実現と共生の視点を兼ね備えて、よりよい生活を主体的に創造するために、家庭科教育で培いたい能力として、適切な価値判断と意思決定能力である(1)」と述べている。

日常生活における衣食住、家族、経済や環境に関わる物事に主体的に生きるために、生徒に生活の現状や情報を読み取り、自分の考えをもって行動しようとする意識（クリティカルシンキング）を持ち、さらに自分の考えや行動を発信できる力を身につけさせたいと考えている。

(1)佐藤文子編「家庭科教育における意思決定能力」2009 家政教育社

### (2) 生徒の実態（1年B組 男子24名、女子15名、計39名）

本校は、千葉市の中心部に位置し、歴史的な神社や古い町並みが多く残る地域である。本校出身の保護者や祖父母も多く、先祖代々住む地域に愛着を持ち、地域の行事が活発である。また、学校行事にも協力的である。およそ25%の生徒が拡大家族であるが家庭生活においては、「豊かに暮らす」というよりは「合理的暮らす」という価値観が強い傾向にある。

アンケートの結果からは、「お金」に関する興味は非常に高く、大切なものという認識が強い。しかし、大切なお金を計画的に大切に使っているかという点、お小遣い帳の使用率は19%、支出項目は「お菓子や飲み物」などが多く、お金が足りなくなったら「我慢をする」「節約する」「足りなくならないよう計画的に使う」という生徒が全体の70%であった。また足りなくなったら、「家の手伝いをしてお小遣いをもらう」や「家の人にねだる」と回答しており、情報を集める、比較する等して、購入することが計画的な購入であると考えられる生徒は少なく、お菓子や飲み物を思いつきで購入している姿がうかがえる。そこで、買い物の際には、適切な価値判断で意思決定する主体的な消費者としての基礎を生徒に育てていきたい。

### 3. 指導目標

- ・自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。
- ・販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。

### 4. 題材の評価規準

評価の観点	評価規準
生活や技術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家庭生活や消費生活について関心を持ち、主体的な消費行動をしようとしている。</li> <li>・学習を通して、消費生活をよりよくしようとしている。</li> </ul>
生活を工夫し創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活の問題点を見つけ、情報を収集したり活用しようとしている。</li> <li>・見つけた課題を解決するために消費生活をよりよくする方法について考え、工夫している。</li> </ul>
生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物資やサービスの事例について情報を収集・整理できる。</li> <li>・消費行動について適切な選択、購入及び活用できる。</li> </ul>
生活や技術についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物資やサービスの事例について、適切な選択や購入方法を理解できる。</li> <li>・消費者の基本的な権利と消費者保護基本法の趣旨を理解できる。</li> </ul>

### 5. 指導計画（8時間扱い） 1～2 [1年次] 3～8 [2年次]

時間	○ねらい ◆学習内容	関	創	技	知	評価規準・評価方法	育てたい力
1	○買い物名人になろう ◆自分や家族の買い物調査 ◆買い物の失敗	○			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な消費生活に関心をもつことができる。【関】(ワークシート)</li> <li>・消費行動には、物資とサービスがあることを知る。【知】(ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活を振り返り、生活の中から問題を見つける力</li> <li>生活を振り返る中で感じた事を表現する力</li> </ul>
2 本時	○買い物名人になるためにレベルアップしよう ◆買い物体験Ⅰ ◆意思決定の流れ			○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を活用し、商品を適切に選択・購入及び活用できる【技】</li> <li>・買い物するときの意思決定の流れがわかる。【知】(ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品を適切に選択、購入するための法則等を解釈して、説明したり活用したりする力</li> </ul>
3	○消費者の基本的な権利と責任について考えようⅠ ◆販売方法・支払い方法の特徴の理解				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売方法や支払い方法の種類とその特徴を考えられる。【知】(ワークシート・定期テスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を収集し整理して分類したり比較したりする力</li> </ul>
4	○消費者の基本的な権利と責任について考えようⅡ ◆消費者の基本的な権利				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買の契約や消費者の権利や消費者を保護するための制度、法律を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の権利と責任について調べ、その結果をまとめる力</li> </ul>

	と責任の理解					【知】(ワークシート・定期テスト)	
5	○消費者を取り巻く問題について考えようⅠ ◆悪質商法とその対策の理解				○	・悪質商法など消費者を取り巻く問題に巻き込まれないために、どのようなことに注意したらよいか分かる。【知】 (ワークシート)	悪質商法に関する基礎的な知識と問題に巻き込まれないための価値観や判断力
6	○消費者を取り巻く問題について考えようⅡ ◆購入時の商品情報となる品質表示やマークの意味を知る。				○	・商品選択の手だてとなる品質表示やマークの意味がわかる。【知】 (ワークシート・定期テスト) ・問題点を改善するための方策を考えることができる。【創】 (ワークシート)	品質表示に関する基本的な理解と実際に活用する技能
7	○消費者センスを身につけよう ◆買い物体験Ⅱ				○  ○  ○	・意思決定の流れに沿った買い物体験を繰り返し行うことができる。【技】(ワークシート) ・学習したことを生かし、意思決定の条件項目数を増やし商品選択できる。【技】(ワークシート) ・消費生活をよりよくする方法について考え工夫しようとしている。【創】(ワークシート)	自分の知識や経験に照らし合わせて、選択・購入できる実践力
8	○環境に配慮した暮らし方を工夫しよう ◆自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、ものの購入のしかたや使い方などを工夫する。		○	○	○	・消費生活と環境のかかわりについて理解できる。【創】 ・環境に配慮した生活を工夫し、実践することができる。【創】 【技】【知】	自分の行動が環境に与える影響を予測できる力 自分の行動が環境に与える影響を考えた価値観で判断し、実践できる力

6. 本時の指導

- (1) 内容 買い物名人になるために、レベルアップしよう
- (2) 目標 意思決定の方法を用い、物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理・決定することができるようにする。

(3) 評価規準

お お む ね 満 足	関心・意欲・態度	創造する能力	生活の技能	知識・理解
	/		<ul style="list-style-type: none"> <li>・物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物をするときの意思決定の流れがわかる。</li> </ul>

(4) 展開

学習過程	生徒の活動	教師の指導と支援	資料・評価 (方法)
課題をつかむ (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の買い物の失敗を思いだし失敗したときにはどうしたらいいか考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例などを挙げて、前時を振り返り、どんな失敗があったのかを確認させる。</li> <li>・後悔や失敗の少ない買い物の仕方を学ぶことを伝える。</li> </ul>	(前時ワークシート)
追究する (20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目の買い物体験をする。</li> <li>・資料として教室の周囲に①「筆箱」②「赤ペン」③「オレンジジュース」④「お菓子(チョコレート)」の商品・情報コーナーを見て商品を選ぶ。</li> <li>・どのような考えでその商品を選んだのか発表する。 (生徒の発表)</li> <li>・意思決定の流れを知る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     選ぶ目的 → 情報集め → 優先順位 → 比較 → 選ぶ → 買う                 </div> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は、ほしいものが決まって、買うまでの間について考えることを知らせる。</li> <li>・4種類の中から一番購入したいものを選ばせる。</li> <li>・選んだ商品を買うまでに、考えたことをワークシートに書かせる。</li> <li>・生徒の発表は、意思決定の流れに分類して板書することで、買い物の際には、多くのことを考えることが大切だと気付かせる。</li> <li>・生徒の発表を分類した板書から意思決定の流れがあることに気付かせるとともに、それぞれの過程に名前をつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。<b>【技】</b> (ワークシート) (挙手)</li> <li>・買い物の時の意思決定の流れがわかる。<b>【知】</b> (ワークシート) (意思決定の流れの黒板掲示)</li> </ul>
深め	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目の買い物体験をし、ワークシートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定の仕方に沿って買い物体験をする。</li> </ul>	

<p>る (20)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ商品を班内で発表し、その商品を選んだ理由も伝える。</li> <li>・代表が自分のプリントを書画カメラに映し出し、選んだ商品とその商品を選んだ経緯を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目と異なる商品で買い物体験をする。</li> <li>・他の商品を選んだ生徒の話聞くことで、個人により価値観の違いや優先順位のつけ方なども異なることも理解させる。</li> <li>・自分自身で意思決定し、そこまでの経緯を自分の言葉で発表し、商品を選択することのできた生徒を称賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。<b>【技】</b> (ワークシート)</li> </ul>
<p>ま と め る (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定に沿った買い物体験することで、1回目と2回目の買い物の比較をする。</li> </ul> <p>〈評価項目〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>買い物名人になるために、次のことを考えて意思決定できたか。</p> <p><b>【目的】</b> ……必要な物かどうか考えられたか。</p> <p><b>【目的】</b> ……衝動買いをしないようにできたか。</p> <p><b>【情報集め】</b> …デザイン、値段、サイズなどを確認できたか。</p> <p><b>【情報集め】</b> …環境のことを考えられたか。</p> <p><b>【順位付け】</b> …無駄にならないようにじっくり選べたか。</p> <p><b>【順位付け】</b> …メンテナンスやアフターケアのことを考えられたか。</p> <p><b>【比べる】</b> ……実用性、機能性などを確認できたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを行う。</li> <li>・まとめたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定に沿った買い物をすることで、適切な買い物できたか。</li> <li>・自分の意思決定がのちのちまで影響を与えていくことにもふれる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから買い物をするときに、今日学んだ意思決定をする習慣を身につけていると買い物名人=賢い消費者になれるという生徒の発表を取り上げて、学習のまとめをさせる。</li> </ul>	<p>(挙手・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを生かして「買い物名人」になるために生活しようとしている。<b>【関】</b> (ワークシート)</li> </ul>